



### 「創立20周年記念式典」開催！

11月16日(日)「目黒雅叙園」にて、スペシャルオリンピックス日本・東京の創立20周年記念式典が開催されました。当日は、この日をお祝いしているかのようなさわやかな秋晴れで、来賓をはじめ、これまでSON・東京を支えてきた人たち、現在も活躍を続けるアスリート、ファミリー、ボランティア計226名が集う、盛大な式典となりました。(式次第は、別掲の通り)

今回の式典では、「今までお世話になった方々への感謝と次の世代へのビジョンのスタート」というコンセプトで、功労者表彰をメインイベントに据えました。表彰対象は、スポーツ・文化それぞれのプログラムや委員会など現在の活動を担うメンバーからの推薦者と、これまでのSON・東京の運営に携わってきた元役員。すべての表彰者からは、緊張のなかにも喜びの表情がうかがえました。

また、ビジョンチームやオリジナルキャラクターといった、新しい幕開けを感じさせる発表もあり、参加者の気持ちを明るくさせました。

さらに、フィギュアスケートのオリンピックメダリスト・高橋大輔氏からのビデオレターと、夏季ナショナルゲーム・福岡で応援ソングを発表した歌手のMISIA(ミーシャ)さんの祝辞がサブ

ライズとして発表され、会場をわかせました。

内容盛りだくさんの3時間でしたが、創立当初から組織を支えてきた人たちから、現在も熱心に活動をする人たちまで、多くのSON・東京メンバーが旧交を温め、かつ未来を語り合う素敵な時を過ごせた式典となりました。



会場を彩ったアスリートの作品と写真



主催者挨拶



UBS証券(株)枝廣泰俊氏



SO日本名誉会長 細川佳代子氏



ヴァイオリン演奏 寺沢希美さん



東京都オリンピック・パラリンピック準備局 局長 中嶋正宏氏



推薦功労者の方々



夏季ナショナルゲーム・福岡 出場選手団からの報告



役員功労者の方々

### 式次第

1. 主催者挨拶 / 岡松武司 (SON・東京 理事長)
2. 乾杯 / 枝廣泰俊氏 (UBS証券株式会社 監査役)
3. ヴァイオリン演奏 / 寺沢希美さん
4. 来賓ご挨拶 / 中嶋正宏氏  
(東京都オリンピック・パラリンピック準備局 局長)
5. 功労者・元役員表彰 代表挨拶 / 三井嬉子氏  
(SO日本 会長)
6. ご挨拶 / 細川佳代子氏 (同 名誉会長)
7. ビジョンチーム発表 / 朝岡美好
8. キャラクターデザインコンテスト発表 / 柳下朋子
9. 写真展人気投票発表
10. ビデオレター / フィギュアスケート・高橋大輔氏
11. 祝辞 / ミュージシャン・MISIAさん (司会代読)
12. 2014年第6回SO日本 夏季NG・福岡  
東京選手団報告
13. 閉会挨拶 / 安田準 (SON・東京 専務理事)



# 創立20周年記念

## 12回 チャリティウォーク&ラン フェスティバル2014開催



宣言タイムレース

12回目を迎えた今年の「チャリティウォーク&ランフェスティバル」は10月19日(日)、駒沢オリンピック公園と日本体育大学を会場に行われました。

宣言タイムレースは、この上ない秋晴れの下、企業・団体29チームが参加。第2・第4走者にアスリートを加えた計6人のチームで、公園内1周約2キロのジョギングコースを徒歩またはジョギングし、自分たちが宣言したタイムにいかにか近づけるかを競い合いました。接戦の

末、日本スターウッド・ホテル「駒沢の慧星」チームがタイム差わずか8秒で、優勝の栄冠を手に入れました。

終了後は、歩いて日本体育大学の東京・世田谷キャンパスへと移動。レストランホールで昼食をとった後、メインアリーナで行われた交流イベントに参加しました。同大5つのクラブ・サークル(チアリーダー部、エアロビクス同好会、体操部、少林寺拳法部、トランポリン競技部)が見せる圧巻のパフォーマンスに、会場は大きな歓声と拍手でわき返りました。引き続き、参加者たちは各クラブ・サークルの活動を順番に体験。スポーツの醍醐味だけでなく学生たちとのコミュニケーションの楽しさを、思う存分堪能しました。



宣言タイムレーススタート!



迫力ある演技 少林寺拳法部



すごい空中回転 トランポリン競技部



細川佳代子 日体大理事・SO 日本名誉会長



日体大学生支援センター副センター長 横山順一氏



バランスボールを使った演技 体操部



笑顔が素敵 チアリーダー部



息もピッタリ! エアロビクス同好会



チアを体験



日体大生の演技に釘付け



第1位 駒沢の慧星チーム

### ご協力ありがとうございました

**【後援】**  
東京都  
世田谷区  
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本  
**【特別協賛】**  
UBS(UBS証券株式会社、UBS銀行東京支店、UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社)  
**【協賛】**  
株式会社遠藤波津子美容室  
大塚商会ハートフル基金  
株式会社スリーポンド  
東京海上日動メディカルサービス株式会社  
日本オーチス・エレベーター株式会社  
三菱UFJ信託銀行株式会社

**【物品協賛】**  
アシックス労働組合  
コカ・コーライーストジャパン株式会社  
株式会社日本ホールマーク  
株式会社ビームス  
森永製菓株式会社  
株式会社ヤナセ  
**【ボランティア協力】**  
あすか製薬V.C. マーガレット  
インターナショナルアシスタンス株式会社  
サムスン Cheil Industriesジャパン株式会社  
ジブラルタ生命保険株式会社  
東京海上日動メディカルサービス株式会社  
日本オーチス・エレベーター株式会社  
日本KFCホールディングス株式会社

日本新薬労働組合  
学校法人日本体育大学  
学校法人日本体育大学 野村ゼミ  
株式会社パンソ  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
学校法人明治大学  
リシュモン ジャパン株式会社  
学校法人渡辺学園 東京家政大学  
**【特別協力】**  
学校法人日本体育大学  
**【協力】**  
アシックス労働組合  
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本  
東京海上日動火災保険株式会社  
東京海上日動メディカルサービス株式会社

東京消防庁  
公益財団法人東京YMCA  
日本スターウッド・ホテル株式会社  
学校法人日本体育大学  
学校法人日本体育大学 エアロビクス同好会  
学校法人日本体育大学 少林寺拳法部  
学校法人日本体育大学 体操部  
学校法人日本体育大学 チアリーダー部  
学校法人日本体育大学 トランポリン競技部  
学校法人日本体育大学 野村ゼミ  
リシュモン ジャパン株式会社

その他にも多くの方々からご協力を賜りました。  
心より感謝申し上げます。





2014年 SON・東京

「バスケットボールフェスティバル in 目黒」開催

9月20日(土)、21日(日)の両日、昨年に続き、「バスケットボールフェスティバル in 目黒～地域における障害者スポーツ展開を目指して～」が、目黒区後援のもと目黒区立中央体育館にて開催されました。

開会式では青木英二目黒区長の挨拶もあり、同区がこのイベントにかける期待が十分に感じられました。初日のメインは、「目黒区民とともにバスケットボールを楽しむ会」。SON・東京のアスリートと「目黒手をつなぐ親の会」のメンバーが手を携え、合同練習やミニゲームを楽しみました。また、ユニファイドプログラムの練習や夏季ナショナルゲーム・福岡に参加する女子と男子の壮行試合、バスケットボール6会場の交流戦なども実施。会場は大きな声援で盛り上がりました。



SON・東京支援

「由美と聡のおしゃべりコンサート」開催

10月10日(金)、渋谷区文化総合センター大和田 さくらホールにて、スペシャルオリンピックス支援のためのチャリティーコンサート実行委員会による「由美と聡のおしゃべりコンサート」が開かれました。山形由美さんのフルート、中鉢聡さんのテノール、山田武彦さんのピアノ。3人の演奏とおしゃべりは、とてもアットホームで素敵なひとときを作り出してくれました。実行委員会からはコンサートの収益として約130万円が、SON・東京の活動のために寄付されました。



演奏後、出演者のみなさんと

「創立20周年記念写真展」の御礼  
広報委員会

8月23日(土)～8月29日(金)の1週間、人形町の「ぎやらリーシムコ」で開催した創立20周年記念写真展には、多くのアスリート、ファミリー、関係者にご来場いただき、誠にありがとうございました。会場で実施した「お気に入りの1枚」は、陸上競技プログラム多摩会場で楽しそうに走る上田和司さんの写真が選ばれました。この写真に投票してくださった方には記念品をお送りいたします。

広報委員会ではこれからも、生き生きとしたアスリートの表情や活躍のご報告、各種情報の提供に努めてまいります。



WORKING ATHLETES

働くアスリートたち 第22回 布施 純さん(30歳)

大観覧車と水族館が人気の葛西臨海公園のほぼ中央に、布施純さんが働くレストラン「ブルーマリン」があります。

女性らしい大人に成長

布施さんは、都立白鷺養護学校(現・白鷺特別支援学校) 高等部卒業後、2003年に公益財団法人東京都公園協会の臨時職員になりました。最初のころ一緒に仕事をして、ほぼ10年ぶりに昨年、公園事業部葛西臨海公園サービスセンターに戻ってきた遠藤芳美さんは、「純ちゃんが私を覚えてくれていたのがうれしかったですね。女性らしく、大人になりました。出勤時にはサービスセンターに必ず立ち寄って、パソコンに自分のパスワードを打ち込むのですが、いつも明るく、元気なのがいいですね」

布施さんは、朝は「ファイト・オー!」、帰りは「シー・ユー・グッバイ!」と言葉を交わしてくれる遠藤さんが大好きです。



洗い物はベテランです

「ブルーマリン」は水曜日定休日。布施さんは月13日勤務で、

火・木・金の9時から17時まで働いています。食器洗浄のほか、店舗の清掃、時間に余裕があるときは紙ナプキンを折ったり、ビニール袋をたたんだり、いろいろな仕事をしています。とくに夏場が忙しく、平日は団体のお客さんでお昼時は大混雑。洗い場も大忙しです。

これからもいっぱい働きたい

「ブルーマリン」店長の名和美代子さんは2014年3月、上野公園のレストランから異動してきました。障害のある弟がいるそうで、布施さんにとっても理解があります。

「明るくて、いいキャラクターだと思います。特別扱いはしていませんが、必要な時に声掛けをしています。それは、若者に接するのと変わらないと思います。1つのポジションをしっかりとこなしてくれていますね」

布施さんが仕事で気を付けていることは、「サボらないこと、やりっぱなしにしないこと、お湯の電源のつけっぱなしに注意すること」。そして、「みんなと仲良くすること」。

職場の皆さんは協力的です。名和さんが店長になってから、お花見や送別会などに母さんと一緒に参加するようにもなりました。布施さんは

忘年会を楽しみにしています。

いつもはお弁当持参ですが、毎月最終勤務日はご両親からのご褒美として、レストランのメニューから好きなものを選べるそうです。取材日はたまたま月末で、かきあげうどんをチョイス。「讃岐うどんがモチモチで、とってもおいしい。大好きです」

毎朝、全員で行うラジオ体操ではいつも一番高くジャンプしているとか。

「仕事は楽しい。店長はやさしいです。これからもいっぱい働きたい。休まず、がんばりま～す。スポーツもしたい」

布施さんにとって、店長は「お友達になってうれしい人」だそうです。職場の人たちを1人1人紹介してくれる布施さんの笑顔から、皆さんのあたたかさが伝わってきました。(水泳競技、陸上競技、バスケットボールの各プログラムに参加)



布施さんと店長の名和さん



アスリート：藤幸太郎さん 母：藤洋子さん

ホッ プ ス テッ プ ジ ャ Vol.8

### 幸太郎の成長



幸太郎さんと母親の洋子さん

1972年生まれ。99年SON・東京入会。参加プログラム：アルペンスキー、水泳競技、合唱、木彫り、絵画、フロアホッケー、ダンス、アスリート会

幸太郎は実家のある北九州で誕生しました。生まれてすぐに産科から大病院へと転送され、1週間保育器に入るといふ状態で、主人は医師より「覚悟しててください」と言われたそうです。結果的に幸太郎は、2か月間の病院生活を送りましたが、退院時に告げられたことは「頭の前から足の先まで未熟です」という厳しい言葉。確かに哺乳力が弱く、飲むたびに吐く毎日、6か月後に宣言されたのは、「ダウン症」でした。

悲嘆にくれる私に先生がかけてくれたのは、「このような子はどこに生まれてくるのかわかりません。あなたのせいではありません。まず姉弟を作ってあげてください。訓練してください。大事に愛情深く育ててください。そうすれば必ず、お母さんに元気がないときには、『大丈夫?』と、そばにきてくれるやさしい子に育ちます」という言葉でした。

それでもことあるごとに泣いている私を黙って受け止めていた主人が2年たったある日、「泣いてばかりいたら幸太郎も可哀そう、笑顔で育てよう」と言ってくれたのです。その一言で我に返り、泣くのはやめ、幸太郎を大事に育てようと決心しました。

2歳で歩きはじめ、排泄が自立できたのは

と、野球は26歳まで続けました。少林寺拳法も姉弟が次々やめていく中、2014年3月までの29年間続けました。

高等部卒業後、3年間工場に一般就労、5年間クリーニング作業所に、現在は福祉作業所に通っています。

27歳のとき、スキーをさせたいとSOに参加しましたが、幸太郎には無理だと思っていました。しかし、「絶対滑れるようになります」と言ってくれた田川コーチのお言葉通り、今ではスキーを楽しめるまでになっています。このことから、発達は遅れていても機会を与え、体験すればできるようになるのだと実感し、いろいろなプログラムに参加するようになりました。

節目、節目で素晴らしい先生、指導者の方や周囲の方々に恵まれ、またSOでもコーチ、ボランティア、アスリートの方々に可愛がっていただき、さまざまな経験をさせていただく中で、42歳の今でも成長していることに感謝で一杯です。

主人の遺影に毎日コーヒーを供え、私がちょっと咳でもすると、「水飲む?」と気遣ってくれます。本当に優しく、赤ちゃんの時に言われた先生のお言葉通りになりました。

### 法人・団体・個人会員募集中

SON・東京の活動は、法人・団体および個人の皆様からの会費と寄付金によってまかなわれています。

**正会員** 入会金：5,000円 年会費：5,000円

**賛助会員** (一口)年：3,000円～

郵便振込口座：00140-1-723232

便利な口座振替をご用意しています。

法人・団体会員については、事務局までお問い合わせください。

今後の予定  
 ◎3月1日(日) バasketボールトーナメント2015  
 ◎3月8日(日) ポート体験会  
 ◎3月14日(土) 定期総会



クルマはつくらない。クルマのある人生をつくっている。

株式会社ヤナセ www.yanase.co.jp

**事務局からのお知らせ** SON・東京事務局は2014年12月29日(月)から2015年1月2日(金)まで冬季休暇をいただきます。

SON・東京  
オフィシャル  
スポンサー

ThreeBond

UBS

citi

Deutsche Bank Group

つくだ煮・煮物の  
新橋 玉木屋  
SINCE 1782

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる vol.64

発行所：〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

編集元：認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京

編集人：岡松武司

編集スタッフ：SON・東京広報委員会/石橋泰介(デザイン)

定価：100円(代金は会費に含まれています)

Special Olympics  
Nippon Tokyo

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20

東京YMCA東陽町センター内

TEL:03-3615-5569 FAX:03-3615-5581

E-mail:office@son-tokyo.or.jp

web:http://www.son-tokyo.or.jp

f www.facebook.com/specialolympicsnipponkyo

Update ↗

登録アスリート数:1,530名

正会員数:1,036名

(2014年11月30日現在)